

情報連絡員報告・6月分

「業界の景況」一進一退

～一時の勢いを失いつつあるか、自動車関係～

<東京都中央会>

6月の情報連絡員報告によると、「業界の景況」前年同月比DIは、製造業で-44.6、非製造業で-42.4となっており、それぞれ若干ではあるが5月に比べ悪化の度を弱めていることが明らかになった。ダイカスト製造業から「自動車関係に一時の勢いがなくなってきたのが気がかり」との報告が寄せられている。また、農水省関係の融資制度について、利用しにくいという声が食肉卸売業から寄せられている。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

<特記事項欄より>

ダイカスト製造=自動車関係に一時の勢いがなくなってきたのが気がかり。

菓子製造=新販路開拓、新製品開拓に各企業とも懸命に努力中。状況は厳しい。

製粉業=小麦粉調整品の輸入は、増加を続けている。パンは好調な形で数字を伸ばしている。麺類はこれからの天候次第。

飲料製造=最大の問題は大手企業の進出であり、その中で生き残るのは新製品の開発しかないが、非常に難しい。

帽子製造=組合としてホームページを立ち上げたが、3ヶ月で16万件を超える

アクセス数になった。

和服裁縫=ユニクロで帯び付き浴衣が3900円で販売されているようでは、我々の業界に仕事が回ってこないのも当然のようです。

金属熱処理業=業界全体の売上高は対前年同月比プラス10%前後で推移している。自動車会社の下請再編成の動きを懸念している。

機械製造=園芸用資材(小型消毒機、ポンプ)類は当用期に入り、荷動きは活発になってきたが取引条件は厳しい。

自動車部品製造=トラック部品業界は、排ガス規制による買替え需要が9月こ

るまで続くことが予想され、業績も好調。

理容用品卸=理美容用品業界のメーカー、問屋の中には、理容部門、美容部門という事業部制を無くしヘアサロン事業部一本に統一するところが多い。

電気製品小売=電力不足の話題から省エネタイプのエア・コン、冷蔵庫への関心が高く、平均単価がアップしている。

古書籍販売=売上が落ち、商品単価が下落している。古本拡張計画と題し、本の出版など数々の催しを企画して業界をアピールする活動を展開している。

米穀小売=不正表示違反により、業者名が公表された。氏名公表はその業者個人にとどまらず、業界全体の信用を失うことになるので違反が出ないようにしたい。

多摩地区青果物小売=野菜等は安価で推移したが果物は高価。消費者は食後の果物にまで手がでない状況で、青果物小売業者の売上が伸びない。

<要望事項欄より>

* 農水省が関係する融資事業はありがたいが、利用に制限があり、提出資料集めに苦慮するなど活用しにくい。

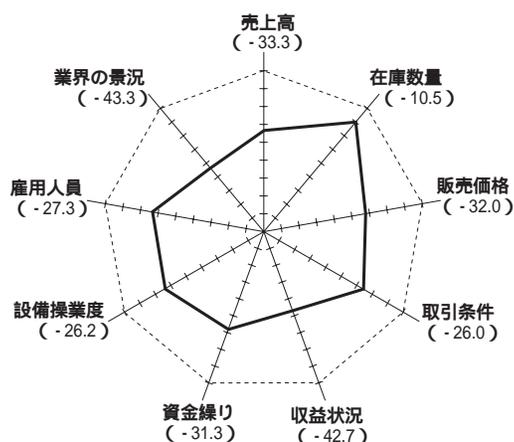
[業務用食肉卸]

* 排ガス規制に対応して車両など発注済で納車が遅れるものについて猶予期間を設けるよう、東京都へ要望書を提出。

[廃棄物処理業]

* 政策が全て「先送り」や「小出し」の連続であり、対応に手数と時間がかかりすぎる。「早めに」「思い切った」対策を講じて欲しい。[トラック運送業]

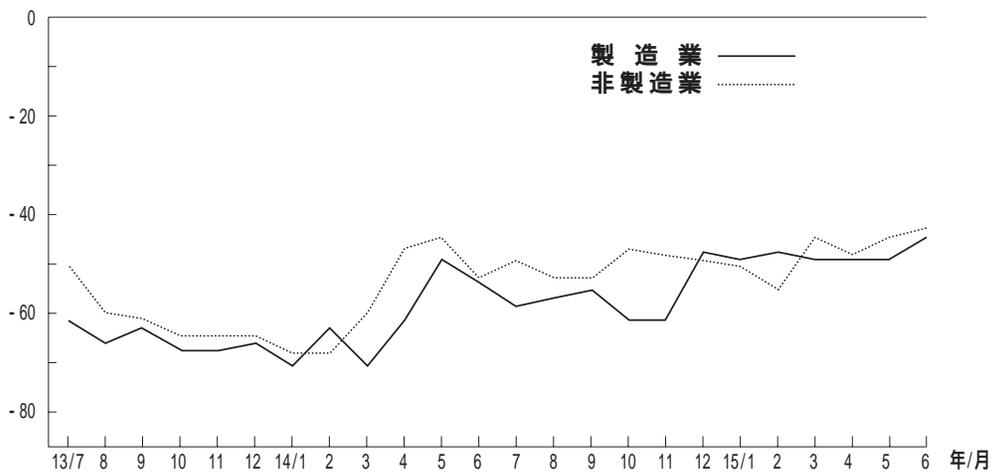
6月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)



(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

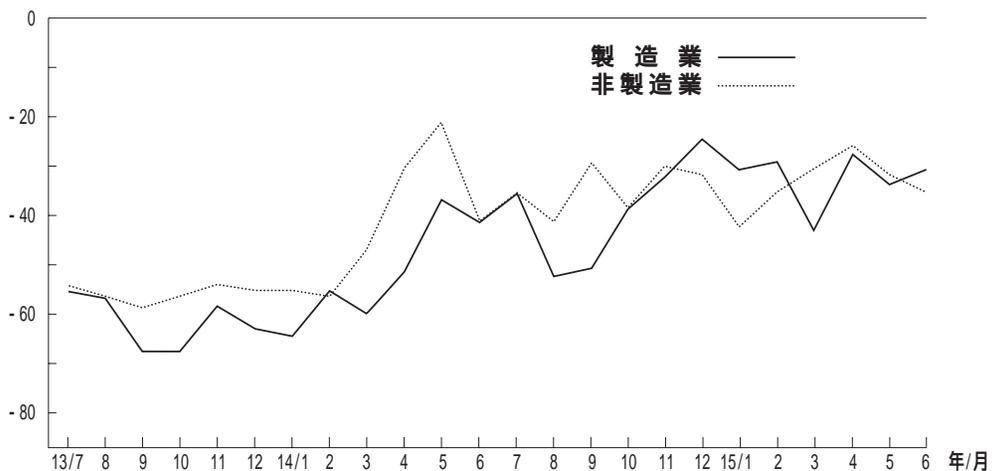
業界の景況DIの変化

(前年同月比)



売上高DIの変化

(前年同月比)



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。